



元代建安刊本の伝統が今甦る！

建

●げんろく志安

まだ四角四面が
好きですか？

●ばてれん志安
まだ四角四面が
好きですか？

●ひさなが志安

まだ四角四面が
好きですか？

安

●げんろく志安

李白の作品集『分類補註李太白詩』は、現存する最も古い注釈書であるようだ。その刊本字様は脈絡を残した行書風の書体で元体、わが国の活字書体での言い方では元朝体となる。分類補註李太白詩をベースにして制作しているのが漢字書体「志安」

●ばてれん志安

李白の作品集『分類補註李太白詩』は、現存する最も古い注釈書であるようだ。その刊本字様は脈絡を残した行書風の書体で元体、わが国の活字書体での言い方では元朝体となる。分類補註李太白詩をベースにして制作しているのが漢字書体「志安」

●ひさなが志安

李白の作品集『分類補註李太白詩』は、現存する最も古い注釈書であるようだ。その刊本字様は脈絡を残した行書風の書体で元体、わが国の活字書体での言い方では元朝体となる。分類補註李太白詩をベースにして制作しているのが漢字書体「志安」

●げんろく志安

李白の作品集『分類補註李太白詩』は、現存する最も古い注釈書であるようだ。その刊本字様は脈絡を残した行書風の書体で元体、わが国の活字書体での言い方では元朝体となる。分類補註李太白詩をベースにして制作しているのが漢字書体「志安」である。書体名は勤有書堂の余志安から

●ばてれん志安

李白の作品集『分類補註李太白詩』は、現存する最も古い注釈書であるようだ。その刊本字様は脈絡を残した行書風の書体で元体、わが国の活字書体での言い方では元朝体となる。分類補註李太白詩をベースにして制作しているのが漢字書体「志安」である。書体名は勤有書堂の余志安から

●ひさなが志安

李白の作品集『分類補註李太白詩』は、現存する最も古い注釈書であるようだ。その刊本字様は脈絡を残した行書風の書体で元体、わが国の活字書体での言い方では元朝体となる。分類補註李太白詩をベースにして制作しているのが漢字書体「志安」である。書体名は勤有書堂の余志安から

元朝体は、元代の福建地方の民間出版社からつくりだされた書体です。中国・元代（一二七一—一三六八）は漢民族圧迫政策により書物の出版にきびしい制限が加えられましたが、それでも福建地方の民間出版社では多くの書物を刊行しています。その刊本字様は趙子昂（一二五四—一三二二）の書風によるとされる脈絡を残した書体です。宋代の福建地方の出版社では余仁仲の万卷堂が知られていますが、元代になると余志安の勤有書堂が有名になりました。この勤有書堂の刊本字様こそが典型的な元朝体です。勤有書堂の『分類補註李太白詩』（一三一〇年）は趙子昂の書風である「松雪体」でみられ、元時代の建安刊本の特徴がよくあらわれています。

●げんろく志安 おこそとのほもよろを元朝体志安ゲンチヨウ

●ばてれん志安 おこそとのほもよろを元朝体志安ゲンチヨウ

●ひさなが志安 おこそとのほもよろを元朝体志安ゲンチヨウ